



ほうさやま かずお

柞山 数男

- ・昭和27年8月生まれ
- ・当選回数:5回
- ・得意分野:農業・まちづくり
- ・特に力を入れている分野:防災対策
- ・座右の銘:一隅を照らす

婦中地区



えにし てるやす

江西 照康

- ・昭和41年8月生まれ
- ・当選回数:3回
- ・得意分野:農業・都市計画
- ・特に力を入れている分野:市街化調整区域
- ・座右の銘:当たり前のことを大切に

旧富山市 和合地区



おしだ だいすけ

押田 大祐

- ・昭和42年3月生まれ
- ・当選回数:3回
- ・得意分野:漁業・大規模圃場整備
- ・特に力を入れている分野:水橋統合校
- ・座右の銘:為せば成る 為さねば成らぬ

旧富山市 水橋地区



いずみ ひてゆき

泉 英之

- ・昭和33年10月生まれ
- ・当選回数:2回
- ・得意分野:中山間地域・建設・農林
- ・特に力を入れている分野:小規模特認校
- ・座右の銘:素顔のままで

大山地区

新しいまち  
を創り、  
豊かな暮らし  
を創る

富山市議会  
会派 自由民主党

活動報告



くぼ ひろり

久保 大憲

- ・昭和53年8月生まれ
- ・当選回数:2回
- ・得意分野:行政経営・都市計画
- ・特に力を入れている分野:いじめ対策
- ・座右の銘:一期一会

旧富山市 南部地区



さわだ かずひで

澤田 和秀

- ・昭和37年9月生まれ
- ・当選回数:1回
- ・得意分野:福祉・子育て
- ・特に力を入れている分野:観光
- ・座右の銘:意志あるところに道は開ける

大沢野地区



ふじた かつき

藤田 克樹

- ・昭和48年4月生まれ・当選回数:1回
- ・得意分野:中山間地域・農業
- ・特に力を入れている分野:公共交通
- ・座右の銘:至誠にして動かざる者は未だ之れ有らざるなり

八尾地区



かなおか たかひろ

金岡 貴裕

- ・昭和56年3月生まれ
- ・当選回数:1回
- ・得意分野:不登校・消防・防災
- ・特に力を入れている分野:不登校対策
- ・座右の銘:1人の人間を救う者が世界を救う

婦中地区

### 浸水対策の強化

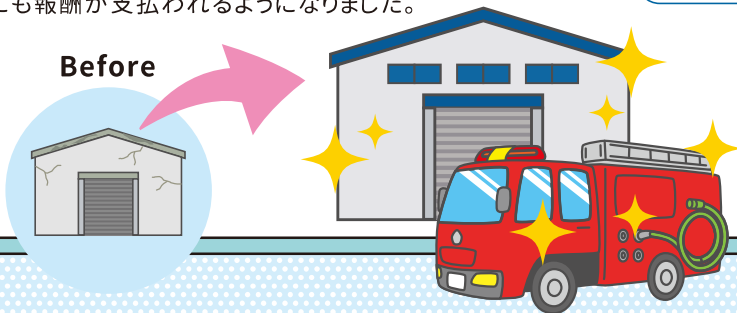
#### 水田貯留の普及促進

坪野川流域では雨を一時的に水田で貯留することで、浸水被害を減らす取り組みを行ってきました。費用対効果が高いことから、田島川、祖母川流域にも拡大しました。実施面積は令和3年度には379ヘクタールまで拡大。さらなる拡大を目指しています。

### 市民生活を守る消防団への支援

#### 消防団・団員への支援強化

老朽化した器具置き場やポンプ車の更新など、消防団の活動に必要な環境整備や、消防団員の待遇・報酬の改善を訴えました。令和5年度から分団器具置き場での待機にも報酬が支払われるようになりました。



### 河川・ダム・用排水路の水量調整

#### 国や県との連携強化

令和5年7月の豪雨災害を教訓に、水量調整に関する既存の取り組みに加え、国や県との連携を強化するよう働きかけています。例えば、合場川上流の電力用水の水量調整について、国や県、市で実施している連絡協議会の場で提起しました。

### その他

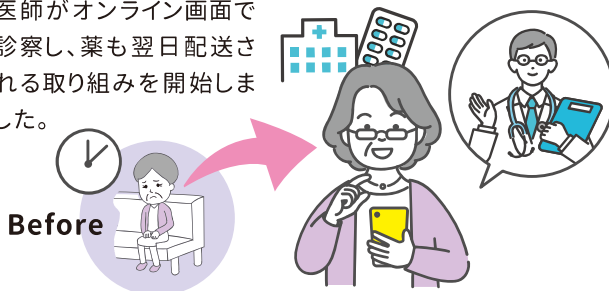
- 豪雨災害に備え、河川などの水量調査を国・県・市が連携して対策を充実
- 災害関連死を認定する審査会の設置を要望
- 土砂災害警報発令において細分化を協議



### どこに住んでいても適切な医療を

#### オンライン診療(実証実験)

中山間地域の高齢者の中には、通院に半日以上かかる方がいらっしゃいます。その負担を軽減するために、医師がオンライン画面で診察し、薬も翌日配送される取り組みを開始しました。



ます。令和5年9月定例会で、例外規定の弾力的な運用を求め、地域の実情を踏まえた運用が実現しました。

### 病気による外見の変化に配慮

#### 医療用ウィッグなどに助成

抗がん剤治療や手術などにより、髪や乳房など外見に変化が生じることがあります。精神的な苦痛を感じ、外出できなくなる患者さんもいます。医療用ウィッグ(かつら)や補整乳房などを利用することで、精神的な苦痛を軽減することができますが、経済的に厳しい家庭では治療費による負担が大きくなります。令和5年9月定例会で、市に対して助成するよう求め、令和6年4月から補助制度が始まりました。



### 地域の実情にあった弾力的な対応

#### 居宅介護支援事業の要件緩和

ケアプラン(介護保険サービスを受けるために必要)を作成する居宅介護支援事業者が減少しています。その要因の一つに主任ケアマネージャーの資格要件があり

経済的な理由で部活動に参加できない生徒へ

就学援助制度の拡充

部活動に参加したくても、家庭の経済的な事情により参加できなかった生徒がいます。国の就学援助制度を活用すれば、部活動に必要な費用について支援できることから、令和5年6月定例会で提案し令和6年度に実現しました。

いじめの被害児童生徒を守り抜く

いじめ防止対策推進法の遵守徹底

北部中学校の事案を受けて、重大事態の見落としがないか再調査するよう求めました。その結果、複数件の重大事態が見落とされていたことが発覚しました。他にも、いじめ対策連絡協議会を条例設置しないといけないところ、市教育委員会はしていませんでした。議会で指摘し是正を求め、令和5年3月に条例が改正されました。

不登校児童生徒の学習機会の確保

不登校特例校の設置を求める

様々な理由で不登校となった児童生徒が年々増加しています。不登校児童生徒が安心して学ぶことができる不登校特例校の設置を強く訴えています。市教育委員会は、その重要性を認識し、他都市の事例について調査研究を行い、設置に向けた具体的な検討に着手しました。

その他

- スクールソーシャルワーカーの拡充を要請
- 上滝中学校新校舎令和6年度に完成。  
木質ペレット活用の冷暖房も
- 水橋学園の新校舎が令和6年4月に着工
- 小見小学校のスキージャンプ台が  
機能性を高めてリニューアル



希望が持てる農業へ

持続可能な農業の実現

農水省は、農家の米の売価が生産原価を下回ることを長く容認し放置してきました。農家に最も身近な富山市として直接的な支援に加え、農振法、農地法、都市計画法による規制に対して柔軟な運用をするよう議会で訴え続けています。また、多面的機能支払い交付金など農業関係の交付金の安定化や、人が住み続ける魅力ある集落づくりを目指し、会派として「持続可能な農業を求める意見書」を提案し、議会として国へ提出するといった活動を行っています。

中山間地域の維持・活性化

中山間地域の農業を守る

中山間地域の農地は狭小で分散しており、生産コストが高く、単位面積当たりの収穫量が少なくなりがちです。そこで、兼業農家同士が資材の共同購入や農業用機械のシェアリングなどの仕組みを支援するよう提案し、県や農協などと協議することとなりました。

先進事例を積極的に提案

有害鳥獣対策の強化

サルやイノシシといった有害鳥獣により、農作物の被害が拡大しています。電気柵の設置や、サルの群れの把握や管理など全国には先進事例が多くあり、会派として積極的に調査研究を行っています。市には助成制度の拡充など積極的な対策強化、県には条例改正などの対応を求めています。



# 快適な毎日

「幸せ日本一とやま」を目指して

今は市民に負担を課す時期でない

## 家庭ごみの有料化について反対

一人当たりの家庭ごみの排出量が全国平均よりも多いことを理由に、市は家庭ごみを有料化しようとしていました。しかし、排出量が多い理由についての分析も、市のごみを減らす取り組みも不十分でした。さらに、当時はコロナ禍や物価高騰対策として、非課税世帯に現金給付などの支援を行っている時期でした。会派として、安易に有料化によってごみを減らそうとすることに反対し、その結果スケジュールは白紙となり、慎重な検討がなされています。

もっと便利に、もっと身近に

## 交通空白区の移動支援

コミュニティバスとして運用してきた大庄循環線(旧大山町)は、AIオンデマンド交通システムを導入し「あいのり大山」へと変わりました。デマンド化により、



複数の人が利用する場合でも、AIが最適経路を判断し、移動時間が短くなることで利便性の向上につながりました。

市営住宅の共益費が高すぎる

## 市営住宅の共用部分のLED化

市営住宅では、未だに電力消費が大きい蛍光灯や水銀灯が使われているところがあります。その電気代は入居者の共益費から拠出されています。電気料金が高騰し、なんとか改善して欲しいとの声を頂いたことから、議会で取り上げ、国に対しても支援を要請し、令和6年度には予算化され、順次LED化が進んでいます。

その他

- 軽自動車税納税証明書発行の利便性を向上
- 公民館条例を1本化し、柔軟な使用を可能に
- 大山行政センターなど3施設を複合化した大山会館が完成
- 大山地区・和合地区にドラッグストアを誘致

# 行政改革

組織の機能向上・法令遵守・市民目線の検証

職員の負担軽減とミスの解消

## 勤怠管理のシステム化

以前は、出退勤は押印、残業は超過勤務命令簿で管理しており、月初めに職員が集計し、給与システムに入力していました。集計や入力の際に人為的なミスが度々発生し、誤った額の給与を支払っていたこともあり、「庶務事務システム」の導入を提案し、令和5年9月に実現しました。システム導入により、職員の負担となっていた集計作業や入力作業が大幅に削減され、ミスもなくなりました。

Before



合併によって富山市はどう変わったのか

## 未来志向の合併検証

合併協議の際に掲げた効果や約束がどの程度実現したのか、合併がもたらした様々な変化についての検証を求めたところ、市は「富山市市町村合併検証委員会」を設置しました。そこで、町村合併の効果や課題等が検証され、令和5年1月に検証委員会から市長に答申として「市町村合併検証報告書」が提出されました。



長い間、誰も気が付かなかった違法状態を是正

## 職員懲戒審査委員会の設置

地方自治法では、職員の分限や懲戒処分についての公正を期すため、「職員懲戒審査委員会」の設置を義務付けています。しかし、市は設置していませんでした。令和4年6月定例会で指摘し、その後、職員懲戒審査委員会が設置されました。

富山市議会 会派「自由民主党」LINE公式アカウント

市議会を身近に感じてもらえるような情報発信をしています。ぜひご登録よろしくお願いたします!



会派「自由民主党」HP



発行者: 富山市議会 会派 自由民主党 〒930-8510 富山市新桜町7番38号 自由民主党会派控室 TEL.076-443-2152/FAX.076-431-6100

※本活動報告は政務活動費を使用せず、所属議員の負担で制作しております。

発行日: 2024年11月29日